

会 議 録

令和 7 年 3 月 31 日調製

審議会等名	令和 6 年度第 3 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和 7 年 3 月 24 日（月）午後 1 時 30 分～
開催場所	三条市立図書館本館（まちやま） ひめさゆり会議室
傍聴者の有無	なし
出席者氏名	【協議会委員】 倉品委員長 若月副委員長 佐藤委員 松原委員 吉田委員 鈴木委員 【説明のための職員】 （生涯学習課） 小林課長 永井課長補佐 泉田係長 大橋主査 （指定管理者） 岡館長 近藤副館長 加藤総務責任者 夏目三条営業所長
報告	(1) 令和 6 年度利用者アンケート結果について (2) 不明資料数の推移について
議題	(1) 読書会への対応について
その他	
開会	まるの委員がまだいらしていませんが、定刻となりましたので、令和 6 年度第 3 回図書館協議会を始めさせていただきます。本日の閉会は 14 時 50 分を予定しております。
岡館長	三条市立図書館、岡葉子と申します。本日はご多用の中ご出席いただきましてありがとうございます。本年度最後の協議会となります。本日もよろしくお願いいたします。

小林課長	皆さんこんにちは。ご紹介に預かりました生涯学習課の小林と申します。第3回図書館協議会の開催に先立ち、一言ご挨拶を申し上げます。ご案内のとおり昨今は電子媒体の普及によって子ども達の読書離れや本離れが進んでいると指摘されますが、本は子ども達にとって、また大人にとって生きる力や考える力を与える源であると考えています。 そのため、三条市立図書館では「マンガのいっぽ」、「ぬいぐるみおとまり会」、「しかけ絵本教室」など、子ども向けの図書館主催事業を数多く開催し、多くの方から御参加いただいております。 また、大人にとっても本は必要な知識を与えてくれると共に、楽しい時間を提供してくれる大事なツールです。これは電子媒体が普及しても本を手にとって読書するということが自体がなくなるとは思えません。市民へこのような読書機会を提供している図書館の運営について、本協議会の皆様から、これまで3回議論いただいたところでございます。 本日は御案内のとおり、令和6年度の利用者アンケートの報告や読書会への対応等が議題となっております。まずは皆様方から忌憚のない御意見をいただいて、より良い図書館に運営に繋げて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
岡館長	(配付資料の確認) 令和6年度第3回図書館協議会次第、資料1「令和6年度利用者アンケート結果」、資料2「不明資料の推移について」、資料3「読書会への対応について」以上の4点です。 三条市立図書館条例施行規則第34条第5項において会議の議長は委員長が務めることになっておりますので、この後の議事進行は

	倉品委員長をお願いします。
倉品委員長	(あいさつ) 皆さんこんにちは。本年度最後の総括をする会議になりました。 私、こういった会議の前には何人の方がいらっしゃっているのかなといつもドキドキしています。7～8年前、この会議ではないですが、お二人しかいらっしゃらなくて結局会が流れてしまいました。これは大変な事ですよね。皆さん都合つけてお出でになって来て、話し合いを行おうというところで数が満たなくて流れてしまったという経験が、たった一度ですけれどもありました。今日も欠席の方があるようですが、のんびきならない事情による欠席とは思いますが、何とか都合をつけて出てきていただけるとありがたいと思います。 事前にお配りされた資料に目を通してきておられると思いますので、今日館長さんともお話をしましたが、この「利用者アンケート」についての話が中心になると思いますので、それを説明していただくこともあるのですが、皆さん読んでこられたということを踏まえまして、事務局は簡潔に話をさせていただき全て思いますし、すべてのことというよりは、特筆すべきもの、この場でぜひ紹介したいということがあれば、そういった事を中心に話し合いを進めていきたいと思います。報告事項とはなっていますが、せっかくの機会ですので、ご意見、ご質問等どんどん出していただき有意義な会にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは早速議事に入ります。例年お話をさせてもらっています

	が、最初に名前を名乗っていただいて、内容のお話に入っていた きたいと思います。 報告の1「令和6年度利用者アンケート結果について」事務局に説 明を求めます。
岡館長	資料(1)「令和6年度利用者アンケートの結果」、皆様先に読んで きてくださったということで、特筆するところだけ説明をさせて いただきたいと思います。 1) アンケート実施期間について 令和7年1月21日(火)から2月16日(日)まで27日間実施いた しました。(前回のアンケートは令和6年3月19日(火)から3月 31日(日)まで13日間実施) 2) アンケート実施方法について 三条市立図書館本館に200枚、栄分館、下田分館、嵐南分室に各30 枚、漢学の里には20枚アンケート調査用紙を設置し、各館の入り 口やカウンターにて手渡し等により配布いたしました。また今回 より、インターネットを利用したアンケート回答も実施いたしま した。 3) 回収枚数について 実施期間終了後に回収箱を回収し、資料の表のような有効回答を 得ました。本館の回答調査で落ち込みは多少ありましたが、インタ ーネットによる回答も多くあったことから、前年度より約1.8倍 の数となりました。 それぞれ詳細にアンケート結果を出させていただきました。そこ では今後求めるサービスとして、サービス満足度の5段階評価と ほぼ比例する形で「探しやすさ」や「調べやすさ」といった項目が

	多く、それに付随するような「資料の質」「施設・設備の充実」「館内表示」といった項目への回答が多く見られました。 ご意見、ご要望の自由記載についても、先ほどの「サービス満足度 5 段階評価」「今後求めるサービス」を具体的に記述して下さったものも多く見られました。 前年度のアンケート回収率の低さを踏まえた上で、今回はインターネットによる回答を取り入れ、回答しやすいアンケート用紙という点に努めました。また、実施時期や実施期間も見直しを行い、それにより回収数の増加につなげることができたのではないかと考えています。 アンケート項目については、前回の分析結果を検討し、削除する項目や、新たに取り入れる項目により、アンケート結果がより精度を持つ分析データとして使えるように努めました。 アンケートでは各項目において満足度の高い評価をいただいているところではありますが、その上で今後さらなるサービスを求めるといった要望もありました。そうしたご意見、ご要望に真摯に向き合い、今回の評価で満足することなく引き続き努めて参ります。 以上がアンケート結果の報告となります。
倉品委員長	簡単に説明いただいたわけですが、特に何か議題に載せるような項目はございますか。せっかくですので、何点かお互いに話し合ってみたいと思いますが。
岡館長	全体に皆さんからの満足度も上がってきておりますので、特筆すべきところは特にございませんので、委員の皆様で気づかれたところにつきまして、ご意見等いただけたらと思っております。
倉品委員長	資料（1）の 3 ページの下の方ですけども、図書館利用者カードと

	というのがありますが、持っている人が少ないですね、123 人が持っているのですか。そんなに少ないものですか。
岡館長	利用者全員にアンケートをとっているわけではないので、結果的にアンケートを書かれた人の割合ということになります。
倉品委員長	でも持っていない人が 28 人いるのですね。アンケートは書いてくれたけども、ということですね。
吉田委員	これ、マイナンバーカードと連動しているかどうかについて訊かれては。
岡館長	マイナンバーカードも、申請すれば図書カードとして使えるものですから。そうすると、マイナンバーカードで持っている方、図書カードで持っている方、もしかしたら重複していることもあるかもしれませんが、アンケート結果を見ると、アンケートを書いた方は、マイナンバーカードでも図書カードでも持っている方が大多数であるということです。
倉品委員長	なんでこんな話をしたかという、もう 4～5 年前になるのですが、図書カードの発行数があまり増えていないのですよね。大勢の方から作ってもらって、たくさん借りてもらってという話がありましてね。せっかくこんなにたくさん本があるのに、もっとカード作っていただき、どんどん利用したらいいのにねという話をしていたものですからね。ちょっと話に出してみたのですが、今全体としてはかなりの数になるのでしょうかね。
岡館長	はい。それと関連して、現在、電子図書の普及のため、(資料 1-4 ページ) 電子図書の ID といいますか、電子図書を借りるための番号、これは逆に持っていない方が多いのですが、図書館としてもいろんな場所で登録会を行うなど、電子図書の普及に努めておりま

	す。この電子図書の ID を持つためには、図書カードを作ることが前提になっていますので、その普及が、図書カードを持つ人の増加に繋がることから、電子図書の普及に併せて図書館の本も借りていただけるのではないかという期待もあります。
若月副委員長	自由記述の内容が非常に興味深かった。深い内容が自由記述にちりばめられているように感じました。 全体として決して悪い方向ではないと思います。ただ、それに安住してはいけないのですね。小さな違いが出てきたとしてもそこを確認していくことがこれからより飛躍していくために必要ではないか。 私事ですけれども、この期間、夜間非常によく利用させてもらいました。ここに入ってきた本でもあるのですけれども、その書評論文を書かなくてはいけなくなって、この図書館をフルに利用させていただきました。だからアンケートの自由意見の内容も、自分が現場にいて直接経験したことが非常に多かったのですね。勉強になりました。 厳冬期でしたが、まだ大学の試験、学期末試験がこれからあるということで、学生さんが非常によく利用されていて、座るところがないくらい盛況でした。この時期卒業論文はすでに終わっている時期です。そのような中で行ったこの分析、アンケート結果だということですが、そこでいくつか。 例えば 2 ページ目と 7 ページ目ですけれども連動するところがありまして、栄分館の回答が多くなっているのですね。で、本館は減っていますよね。たぶんこれは WEB との関係で、本館利用の方が案外周辺にいらっしゃる方よりも、WEB によってアンケート回答をされ

	ていると考え、これを一緒にすると 139 件。栄分館は 1 から 19 件になっていて、かつ 7 ページのところの「主に利用する館」で、栄分館が令和 6 年は 14 ですが、令和 7 年は 43 件になっているのですね。ほかの所と比べてかなり栄分館の割合が増加しているのですが、これは何か催されたんですか？そういうことが気になりました。 あと 3 ページ目ですが、居住地です。長岡市が 1.1%から 7.9%になっているのですね。これは何か理由があるのかなと思いました。数字だけではわかりません。 職業について、学生が増加したとありますけども、一生懸命生徒さん、学生さんがアンケートしてくれたのかなあ。推測ですけども。5 ページの「主な利用時間帯」について、盛んに言われましたけどもそんな遅くまで開いていて市の予算も大変だという表現がありましたけども、17 時以降、20 時以降は、数字としては少ないかもしれないけれども、増えていることは確かなので、その辺のところもう少し増加要因として認識しても差し支えないんじゃないか。来年度も含めて数字の推移を見守っていく必要があるのではないかと思います。
倉品委員長	数字ですので、はっきりした事はお答えにくいと思うんですけども、何かあればお話ししてください。
岡館長	栄分館につきましては、しかけ絵本日本一と謳っているほど、しかけ絵本をたくさん扱っております。その辺のところを利用者の皆さんにも浸透してきて、利用が増えているということもあると思いますし、アンケートの精度を上げるということで期間を延ばし、アンケートをたくさんの方から答えていただいた。その結果が精

	度を上げたことにより、表出してきたのではないかという風にも思われます。ですので、去年とまったく同一かといったら、そうでもないところではありますが、そのようなことも考えられるのではないかと思います。
倉品委員長	あとどうでしょう。10 ページ、11 ページあたり、何かありましたらお願いします。
鈴木委員	13 ページで、「探しやすさ」のサービスの向上を求めている方々の数字が、昨年度も本年度も一番が高いのですが、この「探しやすさ」というのは、どういったことなのか。 例えば、あいうえお順になっけていても、その「あいうえお」がどういう配置になっているかわからないのか、「あ」のところを見つけれないのかであるとか。 これだけ蔵書数があつて、1 階、2 階、3 階とある建物なので、どういったところに不便さを感じているかというところなのですが。利用する人が一番に願っているのはそこなのかなと。どうされていくかというものがあれば教えていただきたい。
岡館長	これに関しましては、旧図書館と比べてのことのようですが、フロアがいくつかに分かれていることから、それが一体どこのフロアになっているのかわかりにくいということもあつて、「探しやすさ」の評価がちょっと落ちているのかなという風に思われます。 例えば先ほどの児童書、絵本等と言いますと、「あ」がどこからかわからないというようなことについても、蔵書点検後にその辺をもっとわかりやすい表示にするとか、「あ」はここからですよとか、日本の絵本はここですよ、外国の絵本はここですよと、そして特筆するような有名な作家さんはここですよと、それぞれ見やすくは

	しています。 なので、見やすさとかそういうことではなく、たぶん3フロアのどこに何があるのかといった目的の場所にたどり着くというところがまだまだなのかなと思います。それなので、どこの棚にどのような形であるかというのは、1階案内所やそれぞれのカウンターにも置いてありますが、それをご覧いただくか、もしくはわからなければすぐカウンターに訊いていただくとか、ご自身で右往左往されてしまっていることが多いのかなという風に思っております。その辺のところは今後の課題として、改善すべきところは改善しておりますが、さらに検討して参りたいと思います。
倉品委員長	僕たちも本を探すときなかなか広いから、1階から3階までであるからどこをどう行って探したらよいかと、まあだんだん慣れてくるのか。 それでは前半はこのくらいにして、別紙の自由意見についてはいかがですか。
吉田委員	(15 ページの) 4 番ですね。施設・設備について、15 ページですが、「閲覧用の椅子にクッションがついていないのが、いつも気になっています。長居するなと言われていている気分です」と。これは、私が委員になってからずっと言っているんですけども、特に学習室の椅子が滑るのですが、長く座っているとお尻が痛くなってくる。我々も選ばれて委員になっているわけで、まちやまの多くの方もある程度重く考えてもらって、ここに出てくる委員は、それだけの選ばれた委員の意見なので、それについてはきちんとした回答を出してもらいたい。やるのかやらないのか、今はこうであるとか。そういう風に行ってもらいたい。いつも聞きっぱなしにして流

	すというのはやめて欲しい。本当にこの椅子は、長く座っているのが困難なので、座布団、クッションはそんなに費用もかからないと思うから、これはぜひ実現してもらいたい。考えてもらいたいと思います。
岡館長	施設・設備の事なので、すぐということにはならないかと思いますが、検討させていただき、その検討結果については回答をさせていただきますと思います。
松原委員	9番のカートがあればという意見。確かに幼児を抱えた方のリクエストなので、ぜひ対応していただければと思いました。 13番、17番、18番。空調の問題が上げられていますので、特に妊婦の方、高齢の方が冷えたら問題になりますので、適正な空調が必要だと思います。 20番、31番、33番。駐車場の拡充をしてほしい。私も先回、土の部分駐車場にしたらどうですかと意見したのですが、今後考えていくことは大事だと思います。 23番、トイレに関する問題で、これもし犯罪が起こったらとても心配ですので、やはりこの辺、見回りの問題はスタッフの方から時々見渡すといった工夫が必要かと思います。 34番の問題は、スタッフの方が違法駐車を見つけたらどんどん注意し、館内で「障害者用スペースにとめている〇〇-〇〇のナンバーの車はすぐご移動をお願いします」というようなアナウンスはあっても良いと思います。
倉品委員長	駐車場の件が何件か出ていますけれども、これもいろいろお考えになってずっとやっているんでしょうけれども、何か途中経過でもいいので対策のようなものはお考え中ですか？スペースは限ら

	れていますからね、拡張してほしいというのもちょっと無理なことかもしれませんが、その辺のところ、できる範囲でお話しくさいますか。
岡館長	確かに駐車を拡張したいところですが、この敷地の中で現状は拡張は難しいと考えられます。それでイベントもしくは会議室、サイエンスホールで大きな会議があるとか、大勢の方がいらっしゃるという時には、車に何名乗っていらっしゃるかというところまではわかりませんので、その時には近隣の駐車を事前にお借りするということもあります。主催の方からは、そちらの方に停めていただく。もしくは若干、車通勤で停めているスタッフもいるのですが、それについても全員他に借り入れた駐車場へ停めるなどして車を移動しております。 ただ、どれだけの方が車に乗って来られるか。1人1台ずつ車に乗ってくるとしたらそれはもう対応しきれないし、その日の天候等にもよるのですが、利用人数とかもその日にならないとわからないところがありますので、それがイベントと重なってしまうと駐車が足りないことになってしまいますが、私どもでも足りなくならないように努力しております。 それと、1日に何回か巡回をするなかで、一般の利用者が障害者用の駐車場に停めているようであれば運転されてきた方に直接移動のお話をするということをしております。何故かと言いますと、そこに停めたままどこか別の所に行かれる方が多いようで、館内放送をしてもなかなかいらっしゃらない。その場合には最悪、「ここは障害者用の駐車場です。ほかにお駐めください」というお願いの

	張り紙を出すということはしておりますが、これ以上は難しいかと思っております。巡回も毎日同じ時間だと「この時間なら大丈夫」と思われても困りますので時間をずらした巡回を日々やっております。それに関しては、先ほどあった暑いとか、寒いといったご要望もお聞きしながら、各フロアに温湿度計を設置しておりますので、そちらで巡回時にすべてチェックし記録し、そこでの体感と、さらに事務所でもフロアが何度になっているかについて集中管理ができていますので、巡回時もしくは巡回後に、適正温度になっているかどうかを確認し、概ね 21 度から 22 度くらいの設定にしています。日々巡回を行い、適正温度について調整を行っております。よってある程度の管理はできていると思いますが、人によって体感する暑さ寒さというのは着ている物によっても違うと思いますので、利用者の方にも協力していただきながら、適切な温度管理について、これからも行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 それからもう 1 点よろしいでしょうか。先ほどの椅子のクッションについてですが、以前の協議会時に図書館からできないという回答を協議会にお出ししております。理由といたしましては、クッションのクリーニング等、衛生面を考えるとなかなか難しいということです。そして持参される方もおられることから、各自で対応してもらいたいという回答しておりますので、よろしくお願いいたします。
若月副委員長	クッションの件、前に回答があったという事については、私うっかりして知りませんでした。でもいろいろと考えて同じような内容

	が頭に浮かんできました。最初は良いですけども、だんだん埃とかという問題があって、衛生上よろしくなくなるかもしれない。あるいはそれを保つためには定期的にクリーニングが必要だという難しさが出てくるかなという風に感じました。 次にトイレです。最近公立図書館を回らざるを得なくなりまして、それらはおしなべて入り口の隣でした。きちんと誘導するような表示をすれば。これは解決できるんじゃないかと思います。 あと駐車場の問題ですが、駐車場を広げることはできないと思うので、状況に応じて総合窓口が一番近い所にポールを置き、障がい者優先という表示をして、窓口に連絡いただくようにする。私の職場でも車椅子の方がご自分で運転をされ、そして自分で帰られますが、大抵の場合はおそらく同乗者の方から窓口へ言ってもらって、ポールを移動してもらう。終わったらまたポールを戻せばいいだけの話で。巡回というものを比較的避けるのです。それでも移動しているようであれば、松原委員がおっしゃるように自動車ナンバーのアナウンスをするしかないかなと、そういった工夫をすれば今のところは対応できるんじゃないかと思います。以上です。
吉田委員	クッションの件はわかりましたけども、長く座っているとお尻が痛いという事は解消しないわけですね。クッションは衛生的に悪いということは理解できるが、一方利用者の方でそういう事があるといったことはもう少し考えられた方がいいんじゃないですかね。
岡館長	今後の問題として検討を進めて参りたいと思います。いい案があ

	りましたら、また出していただけたらと思います。 あとトイレの案内サインですが、デザイン的なサインでよくわからないという方もいらっしゃるのですが、建築設計の段階でそれが決定されており、今それを取り替えるということは難しいため、各トイレの手前、階段の辺りにトイレの誘導看板を立てております。看板には防犯カメラ作動中という事も書いてあります。ただ、さすがにトイレの中までは防犯カメラは付けられませんので、少し手前になりますけれども、防犯カメラがトイレの方向を映しております。そして先ほど巡回の話をいたしました、トイレの中も巡回しております。現在は、巡回時にトイレの個室が長時間開かない、もしかしたら倒れているかもしれないというような場合は、スタッフが確認をさせていただいております。トイレの中もしっかりと巡回させていただくとともに、少し通常とは異なる行動が見られるようであれば、こちらから「何かお探しですか」というようなお声がけを行っております。 トイレの明るさに関しましては、それぞれ同じ明るさにしておりますので、どこどこの階のトイレだけが暗いという事はないのですが、ただ1階は、鍛冶ミュージアムがある関係で、トイレまで行くアプローチが少し暗めかもしれません。床も暗めなので。その辺のところもあるかもしれませんが、そこは施設として認識している場所なので、皆さんに危険がないよう巡回を現在も続けております。
倉品委員長	私達が知らないようなところもたくさんあったりして、大変恐縮なのですけれども、努力をされている姿が目に見えてきました。 職員の方や、スタッフの方々は車を移動して歩いてこっちへ来て

	仕事をするというような事があったのですね。
松原委員	学習コーナー、自習スペースの長時間離席についてですけれども、30分以上の離席はNG等の館内表示をされるといいかなと。実際に図書館を本来の目的で使いたい人が使えない状況なわけなのですね。これは対策が必要だと思います。よろしくお願いします。
岡館長	これに関しましても巡回ですでにやっております。長時間離れた場合も考えまして、「長時間離れている」と思われる場合は30分ごとにそこへ行って、いなければまず置き紙をします。そして本人が戻って来た際に、直接注意を差し上げますし、あまりにも、数時間離席されているというような場合であれば、お荷物を一旦カウンター受付の方でお預かりして、そこに「お預かりをしました」という表示を出します。中には、張り紙をしてもなかなかご本人に注意できない事があったとしても、その人が特定できれば、来館した際に直接その方へお話をしております。時々そういう事が見受けられるようですが、「物を置いたまま数時間お出かけになるのはご遠慮ください。持って移動し、また空いている席をお使いいただきたい」というお願いを利用者にしています。巡回についても先ほど言いましたように、「この時間だったら巡回に来ないから大丈夫だろう」と思われると困りますので、その巡回も時間をずらしながら行うなど、注意を払っております。これからもそれは続けて参りたいと思っております。
鈴木委員	アンケートで「検索機を増やしてほしい」というのは、たぶん1階の検索機が1台しかなく、ましてやカウンターにあっても小さいお子さん連れや私達大人もどこにあるかわからなければ、とりあえず1階で検索してから2階、3階に行くというのが自然な流れ

	なので、検索機は1階にはもう少し増やしてほしいと思っている方が多いのかなということを思いました。そんなに長い時間利用する事はないのですが、1階で結構待つてらっしゃる方の姿を見かけます。2階、3階は複数台あるんですが、1階だけは1台しかないなので、そういう要望であればこれは、全然違う話ですが、要対応とあるように返却窓口端末に本を複数入れても認識されないトラブルがあることと同じような理由で、検索機も1階にあった方が探しやすさにつながるのではないかと思いますし、スペースもあるのではないのでしょうか。
岡館長	設備に関しましては、仰っていただきましたスペースの事もありますので、検討をさせていただきたいと思います。
倉品委員長	次回またどうなったか教えていただけると良いかと思います。
佐藤委員	今回の「利用者アンケート結果」は、何かしらの形で市民の皆さんにお知らせされますか。
岡館長	これは市民の皆さんに公開するようにさせていただきたいと思います。どのように公開するかは検討させていただいて、より広く皆さんに知っていただける方法を考えたいと思っております。
倉品委員長	次第の中で「4. その他」というところがありますので、ここをちょっと膨らませて、委員さんから1年間お務めいただいて気がついた事などあれば、お話ししていただきたいなと思っています。急がせるような形になってごめんなさい。 報告(2)「不明資料の推移について」をお願いします。
岡館長	資料(2)の「不明資料の推移について」をご覧いただきたいと思います。前回の第2回図書館協議会で蔵書点検結果の中で不明資料数をご報告してありますが、その前々年度と比較した結果では、

	その推移がよくわからなかったのではと考えまして、過去5年の推移をあらためてご報告いたします。 この推移を見ていただくと前回ご報告した通り、不明数はICタグ未導入の年と比べて減少しており、ICタグ管理の効果を実感することができるかと思います。これは全体の、分館、分室の方も含めての不明資料数の推移ですので、新しいまちやまの中にある本館の推移につきましては、急遽の事でしたので資料を用意できておりませんが、副館長から口頭で報告いたします。
近藤副館長	本館の不明資料数の推移ですが、自動車文庫の分も含めると、令和2年度が200、令和3年度が74、令和4年度が146、令和5年度が44、令和6年度が41件となります。
松原委員	不明数が減っているというのは非常に喜ばしいと思いますけれども、できればこれは限りなく1桁台になるようにいいかなと思いますし、全体の不明資料数ですと、嵐南分館が建物の構造上、盗難は防げないと思いますので、あそこは早く新しい建物ができるといいと思うのですが、嵐南があのもまだと嵐南はこの数が減らないのかなと思います。最初に申しましたように不明資料数が令和6年度の41件からできるだけ1桁になるといいかなと思いました。
倉品委員長	そうですね。1桁台になってほしいですね。

若月副委員長	嵐南公民館ということですね。これ、いずれ新しいものができるといいですねと思いました。 それから松原委員も仰ったように全体で令和5年、6年と75、73件。そしてまちやまは個別で44、41件ですけども、これってどうなのでしょうね。私は技術的な事はわかりませんが、これ以上努力をして減らす余地というのはありますか。実際BDSが鳴ったらダッシュで。館長は優しいからそこまでやらないんですけども、盗んだ奴は後ろから追いかけると肝を冷やします。実際BDSが鳴ってダッシュで声を掛けたら、たぶんその人は2回目はやりづらいと思いますので、そういう装置があるという事を1年に1回でもいいから走って追いかけるといったアナログ的な対応もいいかと思います。
倉品委員長	では議題の方に移ります。「読書会への対応について」をお願いします。
岡館長	資料(3)「読書会への対応について」をご覧ください。 令和7年度は現在の17団体から活動の申請があり、現在まで例会を開催せずに会議室使用をキャンセルした団体、また例会を少人数で開催している団体については口頭により改善を求めました。 令和7年度は、例会開催の回数や人数について新たに基準を設け、各団体に周知し、定期的な活動を実施して適切な会議室の使用となるようお願いして参ります。 そこで、「図書館所属団体の市バス利用について」を別紙の通り更新します。バス利用は読書会の研修を目的としていますので、会員参加の人数要件を新たに設けるものです。また、内容について遵守

	しない場合は、次回以降の利用を制限する規定を追加しました。 以上「読書会への対応について」ご協議くださいますようお願いいたします。
倉品委員長	別紙（２）というところ。それで了解を得て、今このような形で新しく進むという事ですね。
岡館長	前回、読書会の皆様に現状をお伝えし、図書館協議会で協議をしていただいた結果を読書会の皆様へ周知いたしました。その段階で17 団体が登録をしています。よって、7 年度以降は皆様と決めした内容により、細かく活動記録を出していただくとか、活動した方のお名前を記載し提出していただくことにしたいと思えます。従来は何名参加したのか、それだけしか提出を求めなかったのですが、それを細かく提出していただく事で、図書館の方でそれを検査するというのではなく、皆様にきちんと報告できる形をとりたいと思っています。一般利用者の方達は会議室をお金を出して利用しているのに、読書団体は無料で年間トータルに使えるといった辺りを公平化するための報告ができますように、説明し、文書でもお送りしています。その上で、このバス利用に関して、皆様にお配りした資料の中で赤字になっている所を付け加えさせていただき、バス利用に関して公平性を保った上でお使いいただくため、今一度皆様にご協議いただくものです。
松原委員	しっかりとした基準ができてとても良いと思います。こういう事はもちろん生涯学習課の了解のもとに館長も一緒に入れられたと思いますけども、特に②「運行は三条市または近隣の市町村とする」、⑤「団体所属会員の参加が5 名以上であること」、⑪「上記を

	遵守せず運行した場合は、次回以降の受付をしないこととする」とはっきりと明記したことは、非常に良いと思います。
倉品委員長	本当に長年の問題点だったのですけども、たいへんご苦勞されたと思いますが、これで一件落着となったようで、この新しく更新したものでこれから進めていってもらいたいと思います。
吉田委員	読書会のコピーの無料サービスですね。これはどうなりました？
岡館長	それも図書館の方で持っております家庭用くらいのコピー機がありますので、それをお貸しいたします。そして、紙は持ってきていただきます。そして団体ご自身でその紙を印刷していただきます。コピー機のトナーだけは今のところ図書館が負担しますが、そこでコピーせずに今まで通りのコピー機を使う場合は、一般の利用者の方と同じように代金をいただくという事でお話をしております。よって、今までのように山ほどコピーされるという状況はなくなるのではないかと考えています。
倉品委員長	それでは「その他」の方に移りますが、短い時間ですけども、吉田委員から先に一言、1年間お務めいただきまして、館長さんに向かってエールを送っていただいても、要望を出していただいても結構ですが、2～3分お話をいただいて終わりにしたいと思います。
吉田委員	私最近まちやまを利用していないので、あまり意見ありませんけども、10年以上1回も読まれていないような本は早めに整理されて、面白い本、新しい本それから人気のある本を今まで以上に充実してもらいたいと思います。
松原委員	2点ありまして、1点は水飲みの対応について、ぜひお願いしたいんですけども、これから5、6、7、8月と熱中症にかかるリスクがどんどん高まってきますので広報さんじょうにこのようにして

いますと掲載してもらいたいと思っています。

「今水飲みは、下の喫茶店で対応しています。ただし月曜日はお休みになりますのでステージえんがわで対応しております」という様な。ただし、1階の喫茶コーナーで水を対応していますけども、その営業時間は何時かというのだいたい2時か2時半で終わるらしいんです。そうしますと、そこにもう1行要りまして、「そこがもし閉店の場合はえんがわで水飲みは対応しています」みたいな事もあってもいかなと。もっとも水を持って来られる方もいるかもしれませんけども、一応は全然持って来ない方が水分をとるための具体的な方法はこうですというお知らせはあってもいいと思いました。

それからもう1点、今日会議に出まして、前は会議に出る時にレジュメが1枚ありまして、たとえば私ですと「一般公募の松原です」ということがわかりますし、倉科委員長だったらたとえば「学識経験者」というようなものがあると、なんとなくああこういう方なんだなということがわかると思いますので、その人の1行紹介のようなものがあつた方がよりわかりやすいかと。

この1年間ということですけども、私ちょっと腰痛が出まして第1回の会議に出られませんでしたので、今後自分自身の体調管理をやりたいと思っていますし、この資料(2)の「不明資料の推移について」という点は着実に減っておりますので、この委員に選ばれた時からこの不明資料数というのをなんとか減らしたいという事を訴えておりましたので、これは非常に結構だと思っておりまし

	て、できたらこれが1桁台になったら良いと思っております。
鈴木委員	今ほど松原委員さんから、どういう形でこの委員会が構成されているか名簿が欲しいというのは、昨年から私も要望していたが無いままできていたので、やはりそう感じていらっしゃる方がいらっしゃったのだと思ってほっとしております。 まちやま自体が複合施設なので仕方ないのですが、小さいお子さんが走り回るだけならいいんですが、声を出しながら走り回って、それを注意できないおうちの方がいらっしゃる中で、自由記述のアンケート結果にもちょっと「元気のいい子が来ても大丈夫なように」という気持ちもわかるんですが、複合施設でも図書館という施設であれば、3階にいれば静かになっているんですけども2階がやはり一番頻繁に利用する数としては多く、もう少し、棲み分けという悪いですが、壁がないため子どもの高い声が上に響くのは仕方がないんですけど、やはり限度があるので、なんとかしてほしいと思っていたんですが、私達が気持ち良く利用できるようにスタッフさんが目配りしていただいて、私たちの気づかないところで頑張っていただけているんだなっていうのがわかっただけでも、スタッフの皆さんに感謝です。ありがとうございました。
佐藤委員	嵐南保育所の佐藤です。2年間図書館協議会に出させていただきまして、図書館運営についてこのような会議でいろんな議論がされていることや、まちやまの職員の方が見えないところでいろんな工夫や努力をされていることがよくわかりました。日々子ども達と触れあっていて感じるのは、このまちやまを利用されているお子さんはすごくよく利用されていて、お子さん通じて定期的にこちらを訪れ本を借りたり、イベントに参加したという話を聞

	かせてもらっています。一方でまちやまに行った事がない、まちやまと聞いてもそれが何かわからないというお子さんもいらっしゃいます。微力ながらこのまちやまの素晴らしさを伝えていけたらと思います。どうもありがとうございました。
若月副委員長	2年間、副委員長として何もできませんでしたけども、倉科委員長から非常に上手に行っていただき、敬意を表します。 またこの2年間いろいろな話し合いの中で、回答、改善が見られていますよね。これからも少しずつステップバイステップでいろいろな意見を取り上げる中で、できるものはできる、できないものはできないといった形をとっていかれたらまたうまい方向に行くと思います。 それでその一つの結実が今日の朝刊のチラシに載っていました。 私、今日朝刊で見つけたんですけども、2日前にイベントが弥彦の公民館であったという事がわかりまして、ちょっとタイムラグあったなあという風に思ったのですが、今日欠席の「omamori」さんが絵本の窓に取り上げられ、三条も官民あげて本についていろいろと検討していく街なのだなあと。 ちなみに昨日弥彦で図書館関係の大きなトークショーがありました。それに参加してきたのですが、ファシリテーターが山口さんといって坂本龍一の義理の息子さんがやっていたのですよ。弥彦の図書館がいろいろコーディネートされたみたいですね。非常に建設的でした。 それを受けてこの資料を昨日読んだのですが、特に私69番の意見がものすごく印象的でした。ここにすべて集約されているように思います。

30 万冊ということで弥彦の館長さんも紹介されていました。三条が非常にすばらしいと。弥彦はできないかもしれないが、できることが何かあるのじゃないかといって検討した結果、トークショーをやった。互尊文庫の館長さんと、小千谷の館長さん、それから山口さん、ブックディレクターでいらっしゃるのですね。

様々な図書館のあり方が、ハード、ソフトを含めて検討がされていました。この中で、一つは図書館としての特徴がないと断言されていますけれども、まあ無いとは言わないまでも、まだまだ、やはりつまり個性なのですね。特に中身なのですね。長岡市、新発田市、見附市、弥彦村もみんな行きました。で、そこは三条に無いものを持っていました。とにかくそこではたとえば図書館員の方が自分の好きな本を紹介されるのですよ。そうしたところを訴えられていました。

それからたとえば弥彦と新発田、見附もそうでしたけども、曾野綾子さんが亡くなりました。追悼の本がすべて並べられていました。ああいう利用者への積極的なはたらきかけというのもこれから必要になるのではないかなと思いました。

それから最後ですけども、図書館本来の機能として積極的な取り組みを期待するというような表現を書かれた方がいらっしゃったようですけども、私もそう思いました。本について、本の豊かさについて、もう一度立ち返っての議論ができればいいなと思いました。

たとえば見附市は、今年澤田瞳子さんを呼ぶそうです。読書会を開き、運営にあたると。直木賞作家なのですね。こういう風なもの、講演会を開かれたらいいのかなという風にも思いましたし、弥彦村

	のトークショーみたいなもの「本のある場所／本と出会う場所わたし（私）と私たち（公）の」ってこれもう第3弾らしいんですけども、こうした図書館本来に立ち返った原点としてのいろんなイベントであるとかそういうものもこれからやっていく必要があるんじゃないかと。もうすでにいろんな人達がここを訪れています。これは三条市としては大成功だと。それが外部からも評価されているのです。今度は我々が原点に立ち返って、図書館とは何かとか、本そのものについての様々な意見、思いといったものを図書館全体および当協議会で議論できればなと思います。
倉品委員長	時間がきてしまったのですが、一つ感動したことをお話しさせていただきますが、今回は施設設備等の話題が多かったのですが、子ども達の読書推進ということで、昨年の夏休みですか、読み聞かせリレーをしようという提案がありまして。いろんな団体でそれぞれのスケジュールで読み聞かせをやっているのですが、夏休みだから私達がタッグを組んで、いつも誰かが読み聞かせをしているというような空間、時間を作ろうということで行ったようです。私もちょっと漏れ聞きなのですが、夏休みどこ行こうかなという子ども達が、読み聞かせが始まると、ここに食いついている姿は、とても良かったなあと思っています。あんな素晴らしいアイデアというのは他では見た記憶がありません。新しいものに挑戦するという図書館の姿が見えて良かったなあ、これから楽しみだなあと期待しております。 長時間進行させていただきました。終わることができました。事務局へお返しして、おしまいにしたいと思います。

岡館長	倉品委員長大変ありがとうございました。委員の皆様におかれましても長時間にわたり活発なご意見を賜りましてありがとうございました。以上を持ちまして令和6年度第3回図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。
-----	---